

「雪をめぐる市民勉強会」(案・内容に変更あり)

▽日時：2026 年 9 月 29 日 (火) 18:00～20:00

▽場所：青森市男女共同参画プラザ・カダール (青森市駅前庁舎 5 階) 研修室

▽形式：対面 (定員 50 人) + 簡易オンライン (同 40 人)・参加無料

▽趣旨：

青森市は 2024 年から 2026 年にかけて、2 季続けての記録的な豪雪に見舞われ、多大な人的・建造物・産業被害が発生しました。加えて、特に青森市内の各地域で除排雪作業そのものが困難になり、市民生活に重大な影響が及びました。

人口減少と高齢化が進み、空き家・空き店舗も増える中で、青森市は今後、どう雪と向き合って暮らせばよいのか。特に、ふるさとに踏みとどまる若者たち、そしてふるさとを離れようとしている若者たちに、何をどう伝えたらよいのか。

「都市政策としての除排雪問題」は、研究事例が少なく、「問題の全容」が意外なほどはっきりしていません。それだけに、対策を行政や除排雪業者に委ねるだけでなく、市民が自ら、「ともに悩み、明日を描く」営みが欠かせません。

青森大学・櫛引研究室は本年度、「雪のまちプロジェクト 2026」を進めています。その一環として、他の豪雪都市の事例も参考に、東北地理学会・日本地理学会での報告資料をベースとして、「市民みんなで、雪のない季節に雪のことを考える」場を設けます。

▽主な内容 (変更あり)：

▽青森市の雪をめぐる俯瞰

▽除排雪の社会的・経済的・自然環境的な整理

▽青森市の雪対策の構造的な課題

▽他都市の状況と対比

▽その他

▽備考：

- ・ 櫛引研究室が主催し、青森大学附属総合研究所・青森大学社会連携センターと共催。
- ・ 櫛引が主宰する勉強会「青森 KEN 民塾」の拡大例会として設定します。
- ・ 東北地理学会の研究集会として開催します。
- ・ 参加を希望しつつ当日、参加できなかった人 (エントリー者限定) のみを対象に、期間限定でアーカイブを閲覧可能にする予定です。

☆連絡先・問い合わせ先

〒030-0943 青森市幸畑 2-3-1 青森大学ソフトウェア情報学部

櫛引 素夫 電話 017-738-2001 (内線 731)・kushibiki@aomori-u.ac.jp